

韓国が加害者の証拠がここにある!

【歴

史認識はその国が進むべき未来を示す羅針盤だ。過去の過ちを正視せずに新しい時代を切り開くことはできない。過去の過ちを認めない指導者も新しい未来を切り開けない」

今年3月、韓国の朴槿恵大統領は「3・1独立運動」の記念式典でこう述べた。この言葉は当然、日本に向けて語られたものだが、皮肉なことに、これほど韓国を正確に言い当てる表現はほかにない。韓国が正視してこなかった過去の過ち、それこそが韓国軍による「ベトナム大虐殺」である。

いまから50年前の1964年から73年にかけて、韓国はのべ32万人をベトナム戦争に派兵した。朴槿恵の父・朴正熙大統領（当時）は、アメリカからの信任や戦争特需を得るため、参戦に前のめりになつた。

韓国は、派兵の見返りとしてアメリカから多額の援助を得た。後に「漢江の奇跡」と呼ばれる韓国の経済発展は、このベトナム戦争から始まつたのだ。

一方、その陰で韓国は、ベトナムにおける「負の歴史」を封印した。1万人以上とも言われるベトナム民間人の大量虐殺事件を起しこしながら、そのことは韓国国内で一切の言及が許されないタブーとされ、禁忌に触れたメディアは糾弾の対象とされた。それどころか韓国は、韓国兵によるレイプなどでベトナム人ととの間に生まれた子供



「ライダイハン」の存在を黙殺しながら、いまだに日本軍による慰安婦強制連行のデマを喧伝し続けている。

なぜ韓国は、「ここまでして歴史を歪めようとするのか。

韓国はひたすら「被害者」だと訴え続けることで、日韓国交正常化の際には5億ドルもの金を得た。そしていまなお被害者だと主張することで、様々な利益を得ている。それは金銭面だけではない。たとえば、韓国で噴き上がる政府への不満。その民衆の不満を「加害者」である日本に誘導して、ガス抜きを図る。被害者であることが、歴史的に正しいか否かは関係ない。韓国が存立するためには、被害者になりすまし続けなければならないのだ。

韓国がベトナム大虐殺を封印しなければならない理由もそこにあ

る。もし「この実態が白日のもとに晒されれば、韓国が『なりすまし被害者』であるどころか、実際には戦争犯罪を行なった『加害者』であることが世界中にバレてしまうからだ。

だが今回、北岡俊明・北岡正敏両氏のベトナム現地取材によつて、これまで韓国が隠蔽してきたベトナム大虐殺の驚くべき実態が完全に明らかになった。現地で撮影された戦慄の写真（10～17ページ）は動かぬ証拠である。

韓国よ、過去の過ちを直視せよ！

INVESTIGATIVE REPORT

ベトナム大虐殺 &レイプ

を見よ！ 現地取材で判明した
新証拠・新証言 全記録公開

なりすまし被害者 朴槿恵大統領よ。



韓国軍は
殺し尽くし
奪い尽くし
焼き尽くした

韓国「ベト 戦慄の写真

1966年11月、韓国白馬部隊の隊員が、ベトコンの関係者と思しき女性を目隠しして拘束。彼女は尋問されるまで有刺鉄線の囲いの中に収容され、その後投獄された。

写真 Yonhap/AFLCO AP/AFLCO

現地取材によって初めて明らかになった「蛮行の記録」

韓国軍のベトナム人強姦放火殺戮虐殺

この戦争犯罪に時効なし！

トナム版ゲルニカだ！



ベトナム戦争中、韓国軍が犯した民間人の大量虐殺事件は、これまで断片的な情報だけが伝えられていた。このたび、北岡俊明・北岡正敏の両氏が2回にわたってベトナムの現地調査を行ない、膨大な証拠資料を持ち帰った。この大量虐殺事件は、「戦争犯罪」であり、現代史における一大汚点である。韓国の蛮行が、世界に暴かれる時がきた。

[PROFILE] きたおか・としあき 「シンクタンク戦略大学」代表。日本ディベート研究協会会長。日本戦略協会会長。専門は「戦争論」「戦略論」「ディベート学」。著書『葉隠の経営学』『東京裁判をディベートする』『日本人の戦略的失敗』『国民のための戦史教科書』など多数。

TEXT&PHOTO

北岡正敏
KITAOKA
Masatoshi

北岡俊明
KITAOKA
Toshiaki

これがビンアン大虐殺を描いた「ベ



犠牲者は最大3万人

このレポートは、ベトナム戦争中の韓国軍による、民間人の大量虐殺を告発したものである。その目的はただ一つ、慰安婦問題や歴史認識問題など、日本に対する侮辱や、日本をおどしめる行為を、即刻、中止させるためである。

韓国は、日本の慰安婦をとやかくいう前に、おのれの国の民間人大量虐殺を、世界に対して謝罪しなければならない。戦争犯罪に時効はない。韓国を、できるだけ早く、国際戦犯法廷に告発し、裁くことを提言する。

韓国軍によるベトナム戦争中の大量虐殺事件は、現代史的一大汚点である。ベトナム戦争を汚い戦争にした最大の犯人は、韓国軍の大量虐殺事件である。アメリカはソンミ事件だけであるが、韓国軍は、ベトナム全土で、約100か所、推計1万人から3万人の大量虐殺事件を起こしている。これはベトナム戦争の裏面に潜む、汚辱にまみれた戦争の陰に隠れて責任を逃れてきた。今回、我々は韓国の大虐殺である。韓国はアメリカの犯罪である。韓国はアメリカの陰に隠れて責任を逃れてきた。

[PROFILE] きたおか・まさとし 神奈川大学名誉教授・工学博士（京都大学）。中国瀋陽市、東北工学院（現東北大）元客員教授、日本ロジスティクスシステム学会副会長、専門は「システム工学」「経営工学」「生産技術」。専門外の専門として歴史と戦争の研究。近刊『蒙古襲来の研究』。

ディエンニエン村の虐殺 (112~143人)



112人の名前が刻まれたティエンニエン村の慰靈碑。元解放軍兵士のティさんによれば、韓国軍は農民を苦しめるため、必ず牛を殺したという。

フック家の虐殺(10人)



ビンアンの虐殺(1004人)



ビンアン慰靈廟。立派な慰靈廟の奥に、虐殺を描いた巨大な壁画がある。

トータン村の虐殺(58人)



トーラン村の殺された14家族58人の名前を刻んだ墓碑銘。大勢の韓国兵が、ヘリコプターと陸軍車で現われ、農家を虐殺して回ったという。

ダナン、フエ、ハノイである
冒頭の壁画の写真、そして
全編の写真を見ていただきたい
い。これは我々がベトナムで
発見した、韓国軍によるベト
ナム人大量虐殺の証拠写真で
ある。慰霊碑には犠牲者一人
一人の名前が刻まれており、
隠しようがない証拠である。
驚くべき数の慰霊碑である。
いかに韓国軍が、ベトナム全

筆者たちは、「韓国の戦争犯罪調査チーム」を結成し、昨年9月と今年2月の2度にわたり、ベトナム現地でのフィールド調査を行なった。調査地域は、ホーチミン市、フエ省、ビンディン省、クアンガイ省、クアンナム省

虐殺（ジエノサイド）を、現地調査にもとづいて、世界で

土で虐殺を繰り広げたか、その動かぬ証拠写真である。

は19か所であった。犠牲者は約2800人である。ただし、フレイエン省については、調査したが、あまりに広範囲にわたり、虐殺地が散らばっており、数えることが不可能だった。フレイエン省の虐殺数は、推計2000～3000人である。

ビ し 読 る I た

い。さらに、今回、『SAP-O』の御協力を得た。韓国に対し事実を突きつける。日本の総反撃の開始である。者の皆様のご支援をお願いしたい。

ビンアン虐殺の壁画

我々が集中的に調査した中
部4省のほかに、他省を加え
ると、韓国軍の虐殺地は10
か所近く、犠牲者は1万～
3万人と推計できる。韓国人
の調査や、日本人学者でも、
80か所、9000人という。
しかし、これは少なすぎる。
我々の調査結果は、雑誌『正

たのがビンディン省のビンアン村の虐殺現場である。現在、立派な慰靈廟が建つていて、ビンアン虐殺は、数ある韓国軍による虐殺事件の中でも、最も大規模な虐殺があった。ビンアン周辺、15か所の村々で、1966年1月23日から2月26日の間に、1004人

人である。ベトナムで行なわれたビンアムに大規模でありますたか分かる。

、残虐だ

など弱者を中心^{シテ}に殺戮^{サリュウ}的^{テツ}倒^{トウ}的^{テツ}であつた。女性を妊娠^{ケンジ}は腹^{ウエスト}をさいていろは0歳児から10歳児まで火に放り込みと、考えりの残虐行為を働いてこれは地獄絵である。

家してい
子供が圧
を強姦し、
る。子供
不満が多
く切断し、
るかぎ
る。いる。

ゴーザイ虐殺も含まれる。このゴーザイの慰靈碑は、ビンアン慰靈廟と同じ敷地内にある。

一口に1004人というが昭和20年7月のわが故郷徳島空襲の犠牲者がちょうど1000人である。6割が女性だ

いる。韓国兵によつて強姦さ
れ、悲しみにくれる一人の若
い女性とその母親の絵がある。
この壁画は、全ペトナムに
おける韓国軍の虐殺を象徴す
る壁画である。19か所の慰靈
廟を回り、現地の人々に取材し
たが、韓国兵の残虐性は、す

の農民を虐殺した。この犠牲者の中には、わずか1時間の

る。韓国兵に対して怒髪天をついて怒る老人がいる。そば

ベトナム戦争における韓国軍の民間人大量虐殺の地図

調査「韓国の戦争犯罪調査チーム」



ハミ村にある犠牲者135人の墓碑銘。この裏には、韓国軍の残虐行為を歌ったベトナム詩人の歌碑があったが、韓国人の抗議により撤去がされている。



430人が虐殺されたロンビン村で、イギリス人が建てた慰霊碑。「恨みの碑」と書かれ、右側には殺された我が子を抱いた母親の憤怒の像が彫られてある。



ビンアン慰霊廟の敷地内にあるゴーザイの虐殺碑を前にした北岡俊明代表（左）と北岡正敏教授（右）。1時間で380人が虐殺された。塔には「恨みの碑」と書かれ、左右に犠牲者名簿が並んでいる。



ニヨーラム村で虐殺された300人のうち、13人が祀られた墓。韓国軍は菓子やパンを配って人を集め、突然、住民をあたり構わず撃ち始めたという。



小計 5000人以上 ①
その他犠牲者・推計 5000人~1万5000人 ②
①+②=全犠牲者数 最小1万人~最大3万人

ゲルニカである。

それぞれの壁画につけた解説は、工学博士・数学屋でありながら絵画が特技の北岡正敏神大名誉教授が再現した。じつくりと見てほしい。

フック家は10人殺された

ビンアン虐殺慰靈碑から畑の中を、約3キロ歩くと小さな集落がある。その中の一軒の家の前庭に慰靈碑が建っている。これがファン・バン・フックさんの慰靈碑である。

フック家では、韓国兵によつて、一族10人が殺された。

フック家の事件は、数百人規模の大量虐殺ではないが、大切な家族10人の生命が奪われた悲劇である。フック家の悲劇も、ビンアン大虐殺と同じような、韓国軍の残虐さを証明する事件である。

突然の訪問にもかかわらず、当主のフックさんは、我々を家に迎え入れてくれた。しかも、地ビールのタイガービールを沢山もつてきて、飲みなさいと言つてくれた。威厳のある顔をしており、日本の明治男のようだつた。

フックさんの語る虐殺は以下の通りである。



虐殺された子供・女性・老人・農民などを描いたビンアン虐殺壁画。悪逆非道の限りを尽くす韓国兵が描かれている。



韓国兵に強姦された悔しさと憎しみに燃える娘と、韓国兵に怒り罵る母親。娘の服は引きちぎられ、母親は腕を縛られている。



上から、虐殺について証言したフック家の兄弟たち、両親ら8人の家族を虐殺されたグンさん、爆弾によって大きな傷を負ったクックさん。

「1969年2月12日、戦車や装甲車を動員して、大勢の武装した韓国兵がやってきた。ベトナム解放軍と米軍の戦闘は、たいてい村の外で行なわれた。解放軍は、村が破壊されることを恐れて、村から離れた場所に拠点を構えて、米軍と何度も戦ってきた。しかし、今回はこれまでと事情がちがつた。韓国兵が、突然、家庭に現われた。銃声がしたので、(フックさん)の家族のうち、4人は家の中に隠れた。6人は、大急ぎで、家から裏庭まで続いているトンネルを通つて防空壕の中に逃げこんだ。この防空壕は、米軍の爆撃を避けるために、裏庭を探し出し、殺戮を始めた。無抵抗な農民や女性や子供には、何もしないだろうと、村人は思っていた。しかし、韓国兵は、片つ端から、村人を探し出し、殺戮を始めた。家にいた女性は暴行され、ナイフで切られ、なぶり殺しされ、青年や老人は射殺された。そして、家を焼き払つた。韓国兵は、家の中の4人を殺戮し、防空壕の中にいた6人に対する、数多くの手榴弾を投げこんだ。防空壕は徹底的に破壊された。そのため、

6人のうち、2人の遺体は発見できなかった。その跡地にお墓を建てた

こう語った家長のフックさんの顔は達観していた。しかし、旧正月のために集まつていたフックさんの2人の弟と、息子さんは、「韓国兵は残虐だつた」と身振り手振りで熱く語つた。今も韓国に対する怒りと恨みはあると断言した。

「韓国への恨みは永遠に消えない」

フォックビン村の慰靈廟は立派であり、きれいに清掃されていた。慰靈碑を見ると犠牲者68人の名前と年齢が刻んである。1歳の幼児から75歳の老人までが殺されている。犠牲者68人のうち女性が46人で約68%である。もっと驚くのは、1歳から16歳まで36人もいる。10歳未満の子供を23人も殺している。これは人間のすることではない。

我々のことを聞きつけた近所の人々が7~8人、集まってきた。その中の1人の男性が近寄ってきた。虐殺の生き残りのグンさんだった。現在57歳で、当時10歳だった。グンさんは語つた。両親と兄弟の8人が惨殺された。唯一、グ



ビンアン虐殺壁画の一つ。韓国軍によって裸にされ、焼き殺されている少女。銃をもつ兵士の右手には鎖の跡があり、少女は殺される前に手を鎖で縛られて逃げられないようにしている。

ンさんのみが、死体の山の中に埋もれて助かっただろう。韓国兵が立ち去った後、死体の山から這い出し逃げた。今も韓国人に対しては強い恨みがあり、絶対に許さないと言つた。グンさんの表情には、兩親が殺され孤児になつた怒りと悲しみが出ていた。

実際、事件当時、年齢が若い人ほど、韓国に対する恨みは強烈に残つており、各地で、異口同音に韓国人に対する強い怒りを述べた。両親、兄弟、親戚が目の前で虐殺され、孤児になつたからだ。ベトナム全土で、どれほどのベトナム人が韓国兵の犠牲になつただろう。補償もなく、誰も復讐をしてくれない。いくら我慢強いベトナム人でも、ふつぶつたる怒りと怨念がある。

この記念碑のある場所に、住民80人が強制的に集められた。子供・女性・婦人・老人であった。韓国軍は、突然、小銃、機関銃、手榴弾で、次々と虐殺を始めた。射撃音とともに逃げまどう人々の悲鳴が起き、あたり一面、血で染まつた。まさに、地獄のよう光景であったと、後で聞かされた。この時、母をはじめ8人の家族全員が死んだ。父は

37人が虐殺されたキンタイ村「恨みの碑」に刻まれた彫刻



37人が虐殺されたキンタイ村にある彫刻が施された壁画。韓国兵が女、子供、老人、赤子を抱いた母に銃口を向けています。下は、この壁画を北岡正敏教授が絵として再現したものである。



擊たれたが、まだ息があった。右脇から弾丸が貫通して、意識不明の重傷であつたが、すぐに解放軍の野戦病院に運ばれた。しかし、手術のかいもなく病院で死亡した。記念碑に刻まれている名前は、この場所で死亡した人だけである。グンさんの父親の名前が記録されていない。グンさんが生き残ったのは、母親がグンさんを抱きかかえて、ようやく病院で死亡した人は、名前を記録されていない。

韓国軍は弱かつた

韓国軍からの射撃を一身に受け止めたためであろうと語った。グンさんは、われわれに強く言つた。「韓国軍のやつた。虐殺は、子々孫々まで語り伝えてゆく。韓国への怒りと恨みは永遠に消えない。復讐したいくらいだ」と。

韓国軍は弱かつた

クアンガイ省のロンビン村では、1966年12月5日から6日にかけ、430人が韓国軍に虐殺された。ここには、イギリス人が建てた鎮魂のための「恨みの碑」もある。

地元警察のツーさんが、歩いて数分の場所にある元解放軍兵士の家に案内してくれた。家のなかから精悍な顔をした人が出てきた。クックさんである。82歳であった。30歳で解放军に入隊し、39歳まで兵士として戦つた。31歳の時、負傷した。10日ほど入院したが、すぐに退院して戦つたそうだ。今も、お腹に破片が残つていると、シャツをめくると、お腹に大きな傷跡があつた。同時に、左足も膝から下を失つたと、立ち上がり、ズボンをめくると、膝から下が義足の足を見せてくれた。「韓国軍

は残虐ですか」と聞くと、「大変残虐だった」と証言した。

「アメリカ軍はどうですか」と聞くと、「アメリカ軍は残虐ではなかつた」と証言した。これは他の場所でもみんな異口同音に語つた。ベトナム戦争では、ソンミ事件があつて、アメリカ軍が残虐行為を働いたというのが、世界の常識になつてゐるが、これは大きい誤解である。

かねがね聞きたいことがあるので、聞いてみた。すなはち「韓国軍は強かつたですか」という質問である。しかし、クックさんは、瞬時に「フン」とせせら笑つた。18人の解放軍兵士で、300人の韓国軍を相手に戦い、100人を殺した。彼らは実戦の戦闘体験がないから弱かつたと語つた。韓国でも、日本でも、「韓国軍は強かつた」と言われている。しかし、筆者は、



韓国軍から射撃を一身に受け止めたためであろうと語った。グンさんは、われわれに強く言つた。「韓国軍のやつた。虐殺は、子々孫々まで語り伝えてゆく。韓国への怒りと恨みは永遠に消えない。復讐したいくらいだ」と。

韓国軍は弱かつた

クアンガイ省のロンビン村では、1966年12月5日から6日にかけ、430人が韓国軍に虐殺された。ここには、イギリス人が建てた鎮魂のための「恨みの碑」もある。

地元警察のツーさんが、歩いて数分の場所にある元解放軍兵士の家に案内してくれた。家のなかから精悍な顔をした人が出てきた。クックさんである。82歳であった。30歳で解放军に入隊し、39歳まで兵士として戦つた。31歳の時、負傷した。10日ほど入院したが、すぐに退院して戦つたそうだ。今も、お腹に破片が残つていると、シャツをめくると、お腹に大きな傷跡があつた。同時に、左足も膝から下を失つたと、立ち上がり、ズボンをめくると、膝から下が義足の足を見せてくれた。「韓国軍

は残虐ですか」と聞くと、「大変残虐だった」と証言した。

「アメリカ軍はどうですか」と聞くと、「アメリカ軍は残虐ではなかつた」と証言した。これは他の場所でもみんな異口同音に語つた。ベトナム戦争では、ソンミ事件があつて、アメリカ軍が残虐行為を働いたというのが、世界の常識になつてゐるが、これは大きい誤解である。

かねがね聞きたいことがあるので、聞いてみた。すなはち「韓国軍は強かつたですか」という質問である。しかし、クックさんは、瞬時に「フン」とせせら笑つた。18人の解放軍兵士で、300人の韓国軍を相手に戦い、100人を殺した。彼らは実戦の戦闘体験がないから弱かつたと語つた。韓国でも、日本でも、「韓国軍は強かつた」と言われている。しかし、筆者は、

韓国ではベトナム参戦を顕彰するだけ。反省は一切なし



ベトナム参戦勇士の場という記念館では、韓国軍のベトナム人虐殺を予感させる写真の数々を堂々と展示していた。



華川の壮大な恥知らずの施設。



ソウルの戦争記念館。夜郎自大、外華内貧の施設である。



ベトナム参戦勇士の場の、戦闘を再現した人形。反省も謝罪の様子も一切窺えない。

最後に、クックさんが、「日本の援助でベトナムの犠牲者を助けてください」と言つた。日本人が来たのは初めてだそく。韓国は学校を作つたが、すぐ壊れたと言つた。朴槿恵大統領がベトナムに來たが、経済進出の話ばかりして、謝罪すらしていない。

5月の連休、一泊二日で、韓国に行ってきた。江原道の「ベトナム参戦勇士との出会いの場」(参戦勇士の場)と、ソウルの「戦争記念館」、2か月後には、韓国の戦争犯罪に裁かれる時がきた。韓国の大虐殺を世界に告発し、捏造した慰安婦問題、歴史問題を撤回させ、謝罪させねばならない。読者の皆様のご支援ご協力を願いしたい。

参戦勇士の場は、ソウルの北東、約90キロの江原道華川にある。4万坪の広大な敷地の中に、さまざまな施設が点在している。屋外にはベトナムのクチトンネルを再現している模型像、訓練施設、内務班、食堂、戦闘場面、戦車、大砲などが展示している。

参戦勇士の場や、ソウルの戦争記念館は、ベトナム戦争を反省していない証拠である。どちらも韓国の戦争を賛美し、自画自賛している。もちろん虐殺されたベトナム人を弔うための慰靈碑は存在しない。その気持ちも皆無である。夜郎自大で、外華内貧、身の程知らず、恥知らずの施設である。韓国には、わが日本軍の日本海海戦や奉天会戦や真珠湾作戦や硫黄島戦のような、民族としての輝かしい戦歴がない。

最後に、韓国の戦争犯罪に裁かれる時がきた。韓国は日本を批判する前におのれの戦争犯罪を撤回させ、謝罪させねばならない。読者の皆様のご支援

ベトナム人が証言した「ライダイハン」の蛮行

韓国軍兵士は村の女性を輪姦し、ナイフで乳房を切り取つた



ライダイハンのデュンさん。父は韓国兵。



韓国軍基地でメイドをしていたマイ・ディンさんは韓国兵に輪姦され子供を身ごもった。

韓国軍が行なつた戦争犯罪は民間人虐殺だけではない。

彼らは行く先々で婦女子への性暴行を働いた。凌辱の末に殺害された者、韓国兵の子供を身ごもる者もいた。ベトナムの大地には犠牲となつた女性たちの慟哭が埋もれている。

*
ベトナム南部の大都市・ホーチミンから列車と陸路で16時間。国道1号線を北上する

と、南シナ海に面したフレイエン省・ドンホア県に到着す

る。国道沿いには水田が広がり、水牛が田畑を耕していた。この長閑な田舎町の風景が地獄絵図と化したのは1966年、韓国軍の駐留が始まった直後だった。

—

地元紙『フーアイエン新聞』のファン・タン・ビン編集長が語る。

「66～68年にかけて、韓国軍はフーアイエン省の海側のほぼ全域に駐留していました。ドンホア県をはじめ、フーアイエン省には韓国軍による虐殺現場が点在しています」

ビン編集長が纏めた「韓国軍による虐殺の実態調査」報告書には、韓国軍の蛮行の数々が収録されている。

—

「ベトナムの旧正月に当たる

66年2月18日、フーアイエン省

内の基地を移動する韓国軍が道中にあるホンドア村を襲つ

て本誌が取材を進めると、省

村山康文

TEXT&PHOTO

村山康文

MURAYAMA Yasufumi

—

内にいたるところに虐殺の爪痕が残されていた。ドンホア県のホアヒエップナム村では、66年1月と5月の2回に亘つて韓国軍による殺戮が行なわれた。当時11歳だったグエン・ティ・マンさんが振り返る。

—

「1月2日の攻撃では37人の

村人が殺されました。村の男

たちは捕まれば確実に殺され

るので、ほぼ全員が逃げまし

た。まさか、残った女と子供

に手を出すとは思わなかつた

のでしよう。しかし、韓国兵

は女と子供ばかりの村人を整

列させ、1人ずつ撃ち殺して

いったのです」

—

5月14日の攻撃では村人47

人が犠牲となり、親きようだ

い、親戚を皆殺しにされ孤児

となつた子供もいたという。

虐殺行為が繰り返されたフー

イエン省各地では、さらに凄

た。韓国兵たちは村人30人を1か所に集め、若い女性を強姦した。その後、村人は銃で皆殺しにされ、井戸に放り込まれた」

「トゥイホア市のホアドン村では、シエンという名の少女が10人の韓国兵に輪姦された。彼女はその後殺害され、ナイフでバラバラに切り刻まれた

惨な事件も発生した。前出・ビン編集長が語る。

「我々は2年間をかけてフーイエン省の村々で起きた韓国軍による虐殺事件の聞き取り調査をしました。その中には我々も耳を疑うような事例が多数、含まれていたのです」

韓国兵は虐殺後、踊り出した

同紙が編纂した調査報告書には、66～67年にかけてトゥイホアとトゥイアン地域で起きたおぞましい事件が記録されていました。

・韓国軍は村の女性を輪姦し、ナイフで乳房を切り取った。その後、女性器にナイフを突き立て殺害した。

・カエルの股裂きのように子供の股を裂いた。

・子供を放り投げ、兵士が持つナイフの上に落として殺害した。

・5人の兵士が1人の女性を輪姦し、最後にナイフで喉を突いて殺した。

このような狂気に満ちた韓国軍の蛮行は、特に、ベトナム中部の農村地帯で目立っている。フーアイエン省から車で3時間ほど北上したビンディン省でも虐殺が繰り返された。

同省タイソン県のタイヴィン村に住むヒュエン・ティ・ムイさん（60）は、12歳の時に虐殺事件に巻き込まれた。

「66年1月23日の午後2時ごろ、韓国軍が村にやつて来ました。私は咄嗟に近くの家に逃げ込んで助かりましたが、

村人13人は全員、拳銃で射殺されました。しばらくして村に戻ってきた韓国兵は、弾が急所を外れて悶え苦しむ村人に再び銃口を向け、とどめを刺したのです。その後、韓国兵たちは激しく踊り出し、それは30分以上続きました」

韓国軍基地があつたビンディン省では虐殺だけではなく、兵士による強姦事件も多発しました。本誌がかつて取材した同省在住のマイ・ディンさん（年齢不詳）は17～18歳の時、韓国兵に輪姦され男の子を身ごもつた。

「当時、私は150人ほどが駐留する韓国軍基地の食堂でメイドとして働いていました。ある日の夕方、後片付けをしていると、背後から突然、複数の韓国兵が襲い掛かり、私をテーブルの下に引きずり込もう。実の子と分け隔てなく私を育ててくれた父（リエムさん）に感謝しています」

本誌13年12月号でも報じたが、元朝日新聞サイゴン支局長の井川一久氏によれば、「韓国軍に破壊された村の女性たちは運よく逃げ出しても戦争難民となり、売春など生きている」。

5人の男が押し入ってくるのを耐えるしかありませんでした。それ以上は話したくない」と、思い出したことない間に生まれた子供は「ライダ

イハン」と呼ばれる。「ライイハン」は韓国を意味する蔑称だ。ベトナムには最大で3万人のライダイハングがいると推計される。その多くは戦争終結後、ベトナムに流入した韓国人ビジネスマンと現地女性の間にできた子供と言われるが、韓国兵のレイプによつて生まれたライダ

イハンがいるのは紛れもない事実だ。韓国兵が現地の売春婦を妊娠させるケースも少なかつた。本誌がかつて取材した同省在住のマイ・ディンさんは、当時1歳だったチヤン・ティ・デュンさん（46）だ。

「母は生後間もない私をゴミ捨て場に放置したそうです。

韓国兵との間にできた子供と知れ渡つたら売春婦ということがばれてしましますし、や

むを得ぬ決断だつたのでしょ

う。実の子と分け隔てなく私

を条件に語る。

69年に志願兵としてベトナムに渡った韓国人男性が匿名

とがばれてしましますし、や

むを得ぬ決断だつたのでしょ

う。実の子と分け隔てなく私

を条件に語る。

後遺症戦友会」と称する会員数約13万人のこの団体は、93年3月に制定された「ベトナム参戦枯葉剤後遺症患者の支援等に関する法律」に基づき設置された法定団体で、「海兵隊枯葉剤戦友会」を母体とする。現在の名称になつたのは2000年4月だが、ベトナム戦争で多数の民間人を殺戮した「青龍部隊」が韓国海兵隊第2師団の別称だつたことはよく知られている。

枯葉剤戦友会の設立目的には「枯葉剤後遺症患者らが人間らしい暮らしを営むための支援」のほか「国民の興国精神を育み、愛国心を鼓吹し、国家の発展に寄与する」と謳われている。ところが、今やこの団体は単なる軍人OB組織ではなく言論封殺のための「極右暴力組織」として認識されているのだ。韓国紙記者が語る。

「彼らは米国の枯葉剤製造業者を相手取つて総額3857億ウォン（約385億円）の民事訴訟を行なつていたのですが、その裁判の上で一連の報道が不利に働いた。それでハンギヨレ新聞社を襲撃したのです。枯葉剤戦友会は自分たちの不利益になる言論を封

Reuters/AFLCO



抗議活動中の韓国軍OB。手にしたガスボンベで火をつけることもある。

じるために手段を選びません。デモや抗議活動の際は鉄パイプや消火器、ガスボンベを携行し対抗勢力を威嚇するのが常套手段です」

枯葉剤戦友会の攻撃対象はマスメディアだけではない。92年に韓国で公開され、東京国際映画祭でグランプリを受賞した映画『ホワイト・バージ』も激しい非難に晒された。この作品は、ベトナム参戦兵の苦悩を描き40万部以上のベストセラーとなつた同タイトルの小説（原作・安正孝氏）を映画化したもので、韓国兵による民間人虐殺のシーンがリアルに再現されている。

その中でもとりわけ残酷なのが、農民一家がベトコンに間違われ韓国兵の機銃掃射を受けるシーンだ。幼い子供や老人が銃弾に倒れ、その傍らで子供の両親と思われる男女が泣き叫ぶ。韓国兵は民間人を殺害したことに気づき動搖するが、「どうせ殺すんだ。（この場で）殺せ！」という上官の命令で生き残った農民をサバイバルナイフでめつた刺しにすると、武功として耳を削ぎ落とした。

かつてベトナムを取材したノンフィクション作家の野村

進・拓殖大学国際学部教授は、映画のシーンと同様の体験をした人々から韓国軍の残虐性を物語る証言を得ている。

「ベトナム南部のニンホア県ラクアン村出身の男性は12歳の時に韓国軍の急襲を受け、両親と3人の妹を亡くしました。村にやつてきた韓国軍は大人子供関係なく、いきなり銃を乱射したそうです。我々の話を近くで聞いていた老人は、『韓国兵は』死んだ人間の耳を切り落とした。鼻をもがれた者も、首を狩られた者もいる。そんなことは、どこでもあつた」と話しています

た。村にやつてきた韓国軍は大人子供関係なく、いきなり銃を乱射したそうです。我々の話を近くで聞いていた老人は、『韓国兵は』死んだ人間の耳を切り落とした。鼻をもがれた者も、首を狩られた者もいる。そんなことは、どこでもあつた」と話しています

映画はベトナムでの韓国軍の蛮行をありのままに描いていたというわけだ。枯葉剤戦友会は、この作品を手がけた監督の鄭智泳氏に対し執拗な抗議を重ねたという。鄭氏は映画の公開に前後して、複数のメディアに対し次のように語っている。

「ベトナム戦争は韓国現代史における恥部だ。しかし、若い世代に偽りの歴史を教えることはできない。韓国のベトナム派兵を知らない若者すらいる。この映画は史実を再検証するために作った。戦友会

から『なぜ韓国の暗部を掘り起こすのか』という抗議もあったが、全部史実に基づいたものなので無視した

「退役軍人13万人の希望、朴槿恵」

このように、恫喝と暴力で

とする暴力組織と強い繋がりを持つのが朴槿恵大統領だ。

両者の関係は07年2月2日、朴槿恵の55歳の誕生日に遡る。

その日、突然、枯葉剤戦友会

本部に姿を見せた彼女は、父親の朴正熙が派兵を決めたベトナム戦争について「国の経済発展の礎になつた」とした

上で次のように語つたという。

「ベトナム参戦者や枯葉剤患者が送っている苦しい生活に、何ひとつ手助けとなることができずとても心苦しい。私の

力の及ぶ限り、(枯葉剤戦友会)会員の名誉回復と福祉増進のために尽くしたい」

当時の彼女には何としても

大統領になつて「父親の業績

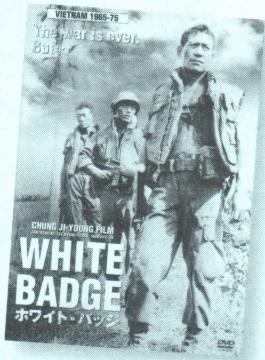
を正当化したい」という強い思いがあつた。その上で、保

守勢力である枯葉剤戦友会は

大きな支持基盤になる。一方

の戦友会側は、有力な次期大統領候補である朴槿恵と蜜月

ベトナム戦争のタブーに触れた映画「ホワイト・バッジ」。原作者、監督は「虐殺シーン」について言及を避けた。



今年6月6日の顯忠日（戦没者慰靈日）に行なわれた国立墓地でのセレモニーでも、朴正熙が始めたベトナム派兵を、彼女は本当に正義と考えているのだろうか。

枯葉剤戦友会はHPで「米国と南ベトナム両政府が韓国人の仮面を被ることで、政府からより多くの補償を引き出そうという魂胆があつた。両者の思惑はここで一致した。

4年後の11年5月、ソウル市内のホテルで開かれた「枯葉剤戦友会14次定期総会」で、朴槿恵は下にも置かない歓待を受けた。そこで撮影された写真には、同会の会長にエスコートされ笑顔を見せる彼女の姿がある。総会に参加を希望した政治家は何人もいたが、招待されたのは翌年に大統領選挙を控えた彼女だけだった。

朝鮮戦争で破綻した経済を立て直した。

もちろん、「国のために」と命を落とし、枯葉剤の後遺症に苦しむ人がいるのは事実で

あり、彼らとともにに戦った者たちがベトナム参戦兵の地位向上を訴えるのを理不尽と言ふことはできない。だが同時に、彼らにはベトナムで起きたことを後世に語り継ぐ義務があるはずだ。本誌は今回の取材で、複数のベトナム帰還兵に話を聞いた。しかし、韓

国による虐殺を問うと彼ら

はいざれも「いたたまれない気持ちになる」と明言を避け口を閉ざしてしまつた。

帰還兵がベトナムでの真実を語れないのは、枯葉剤戦友会のような暴力組織が未だに会のようない暴力組織が未だに幅を利かせているからだろう。

本誌は、前述の『ホワイト・バッジ』を手掛けた鄭智泳氏に取材を申し込んだが、「取材には」意味がない」と断わられた。また、原作者の安正孝氏は「映画の虐殺シーンはフィクションだ。小説には耳を切り落とす話も書いていない」と言い切つた。原作小説には明らかに件の記述があるにもかかわらずだ。自身の代表作となつた小説の内容が、記憶から抜け落ちるとは考えにくい。本誌が再度、安氏に確認をすると取材を拒否された。

冒頭で紹介した事件の被害者である『ハンギヨレ』にも再三、取材を申し込んだが、返答をもらうことはできなかつた。

「被害者」を装い利益を貪るうとする極右暴力組織と、ベトナム参戦を「父の功績」にしたい朴槿恵は、言論封殺で

「不都合な真実」を闇に葬るうとしている。

ソウルの風 特別版 韓国人にとつては“忘れない歴史”になつてゐる

韓国歴史教科書に「ベトナム大虐殺」は載っていない

産経新聞
ソウル駐在客員論説委員
KURODA
Katsuhiro

韓国は今年、ベトナム戦争参戦から50年になる。しかし記念行事はささやかなものだつた。6月10日、ソウルの国立墓地で遺族会などによる慰靈祭が行なわれたが、政府高官の出席はなかつた。慰靈祭も今年が初めてで、その経費5000万ウォン（約500万円）も政府の支援はなく自分でつたという。

マスコミ報道は一部新聞に行事の写真が出た程度だつた。同じころ亡くなつた元慰安婦の老女（91）の死亡記事の方がはるかに大きかつた。この慰安婦報道では生前、彼女を慰問し激励した首相と彼女が手を握り合つてゐる写真がドーンと掲載されていた。今や韓国ではベトナム戦争の戦死者より「元慰安婦の方が「愛國者」「国家的英雄」として国を挙げて称えられている。

韓国のベトナム派兵はまず非戦闘部隊を派遣し翌65年から本格的に戦闘部隊を投入した。1973年まで8年間で

延べ約32万人を派兵、うち約5000人が戦死し1万人が負傷している。国立墓地の埋葬者数は朝鮮戦争の犠牲者（約19万人）に次ぐ。

韓国軍はベトナムでの米軍支援が目的だつたため、米国

の派兵要請によると思われるがそうではない。実は韓国側の強い要請によるもので、最初は断わられている。

当時の韓国は朴槿恵大統領の父、朴正熙政権時代で反共意識が強く「北の脅威」下で軍事強化、経済建設に必死だつた。同盟国・米国への軍事協力を通じた韓国軍強化と

「戦争特需」による経済建設

「約16万人の枯葉剤被害者を生んだ」と書いているだけだ。

歴史的にはベトナム派兵と校韓国史から」といつた批判的、否定的な記述も多少、付け加えられるようになつた。しかし、韓国軍の「民間人虐殺」について記述しているものは皆無だ。

話題になつた保守派教科書の教學社版は「米国の軍事的、経済的支援確保に寄与した。

米国の軍事援助や借款、経済

支援、派遣人力（兵員）の送

金、韓国企業の進出などは60

年代の韓国経済成長の牽引車

の役割をした」とする一方で

韓国軍にとつてベトナム戦

争は初めての海外派兵だつたため張り切り過ぎた（？）結

果、禍根を残した。当時は強烈な反共時代で「滅共」が国

家スローガンになり北朝鮮への敵愾心が強かつた。ベトコ

ン掃討作戦は対北戦争の予

行演習でもあつた。今でも軍

OBたちは「戦争には負けた

が戦闘では勝つっていた」と言つて自らを慰めている。

韓国軍はベトナムでの米軍支援が目的だつたため、米国

の派兵は「誇るべき歴史」と

はならず、いわゆる民主化時

代の90年代以降は「忘れない歴史」になつてしまつた。派

兵50周年の寂しい（？）風景

はそのせいである。

歴史教科書で見ると「韓国軍の戦力増強と経済発展に寄与した」とほとんどがベトナム派兵をプラス評価をしてゐる。最近は「（1万5千余人の戦死・戦傷者のほか）多く

の枯葉剤被害や民間人の犠牲、軍を追い出して勝つた統一ベトナムからすると米韓軍は侵略者である。

この結果、韓国でのベトナム派兵は「誇るべき歴史」とはならず、いわゆる民主化時代の90年代以降は「忘れない歴史」になつてしまつた。派

兵50周年の寂しい（？）風景はそのせいである。

歴史教科書で見ると「韓国軍の戦力増強と経済発展に寄与した」とたつた1行触れているに過ぎない。他の教科書は完全に無視している。日本がらみとなると韓国の歴史教育がいかに片寄つてゐるかの代表例である。

韓国軍にとつてベトナム戦争は初めての海外派兵だつたため張り切り過ぎた（？）結果、禍根を残した。当時は強烈な反共時代で「滅共」が國家スローガンになり北朝鮮への敵愾心が強かつた。ベトコ

ン掃討作戦は対北戦争の予行演習でもあつた。今でも軍

OBたちは「戦争には負けた

が戦闘では勝つていた」と言つて自らを慰めている。

韓国にとつては「共産主義

から自由を守る正義の戦い」

に対するお返し」だったが、結果は米軍撤退と南ベトナム崩壊、南北共産化統一で「負け

た。1973年まで8年間で

韓国は今年、ベトナム派兵はま

ず非戦闘部隊を派遣し翌65年か

ら本格的に戦闘部隊を投入し

現地女性を妊娠させて、養育費を払わずにトンズラ

韓国人の父親に見捨てられた「フィリピン版ライダイハン」が急増中

本誌編集部

ベトナム戦争から50年、場所をフィリピンに変え、「第二のライダイハン」とも呼ばれる存在が国際問題になりつつあるという。なぜこの国は、同じ過ちを繰り返すのか。

*

「妊娠5か月の時、彼は私に中絶を要求してきましたが私は断わりました。彼と会話をしたのはそれが最後です。現在彼がどこにいるのかは知りません。彼には娘を認知して、養育費を援助してほしいと思っています」

首都圏のカローカン市で母親と7人の兄弟と生活するマイリンさん（26）には7歳の娘がいる。繁華街のカラオケ店（日本のスナックのような所）で知り合った「彼」は、韓国人男性であつた。

マイリンさんの娘のように、韓国人男性とフィリピン人女性の間に生まれた子供は、「コ



セブ島在住の1歳4か月のコピノと母。生活は非常に厳しいと母はいう。

ピノ」（Kopino: KoreanとFilipinoを合わせた造語）と呼ばれている。

その呼び名を聞くと、多くのフィリピン人は顔をしかめる。なぜなら、コピノの多くは、マイリンさん母子のよう

に、本来父親であるはずの韓国人から、見捨てられているからだ。

妊娠すると帰国し連絡を絶つ

コピノの存在は、いまや国際的な社会問題となっている。

5月25日付ウォールストリートジャーナルは、フィリピンでコピノが急増し、社会問題になっていることを報じた。記事では国際的ネットワーク・ECPAT（アジア観光における児童買春根絶国際キャンペーン）の資料をもとに、「コピノの数が2～3年の間にこれまでの1万人から3万

人にまで増えているが、父親のほとんどは子供を捨てて帰国し、行方をくらませたままだ」と指摘している。

背景にあるのは、フィリピンに渡航する韓国人の急増だ。フィリピン観光省によると、2013年にフィリピンを訪れた全観光客約468万人のうち、韓国人は最多の約116万6000人で、4人に1人の計算になる。さらにフィリピン在住の韓国人は約10万人に上る。

渡航者の増加は、セブ島を中心とした2000年代初頭から英語学校ができ始めたのを機に、韓国人留学生が増えたことが理由とされる。近年、ヒュンダイやサムスンなどの大手企業が相次いで海外進出し、韓国国内で英語学習に対する需要が急速に高まつた。すると留学費用が高額な米国など先進国よりも、費用の安い

セブ島に住むアイリーンさん（24）は友達の紹介で、フイリピンに英語留学にやつてきた韓国人留学生と交際していた。交際3か月で妊娠したが、妊娠4か月の時に男性は「一時的に帰国するだけだ」と言い残し、韓国へ帰つた。

ウォールストリートジャーナルは、韓国人男性がコピノを見捨てる理由を、「貧しい国」の女性との間に生まれた子という理由で、韓国社会で差別を受けるから」と解説する。そうした韓国人の姿勢を問題視し、コピノを支援するフ

イリピンでの現地女性との関係が妻にバレて離婚になってしまふと、当然、慰謝料が発生してしまいます。それらのリスクを避けようとフィリピン人女性と子供を置き去りにして自分だけ帰国してしまうケースが多いのです

リビン人女性が少くないのは事実。ただ、韓国人男性は避妊を拒む傾向があり、女性を妊娠させることが多々あります。しかも若さゆえに金錢的な余裕もない。フリーピン人女性が妊娠すると責任を取らずに帰国して、連絡を絶つてしまつ韓国人男性が多いのです」(情報誌編集長)

「彼が一時帰国する際に出産費用として3万ペソ（約7万円）をもらいましたが、その1か月後には彼とは連絡が取れなくなりました」

多くはフィリピン人女性が親権を持ち子供を1人で育てなくてはならなくなります。また、韓国ではフィリピン人女性との交際や子供の出産が発

現地事情に詳しいアジア地域情報誌の編集長が、コピノ増加の実態を語る。

「マニラ市街のほか、米軍基地があつたアンヘレス市なども多くの韓国人がいるが、特に英語学校が立ち並ぶセブ島では若い韓国人が集まつている。彼らはこれまで韓国人男性が持っていた男尊女卑のイメージとは違ひ、とてもソートな印象です。そのため韓国人男性に近づきたがるフィ

フイリピンへの留学を望む学生が殺到するようになつたのだ。
現地事情に詳しいアジア地域情報誌の編集長が、コピノ
増加の実態を語る。

連れ出しバーやカラオケ店が立ち並ぶフィリピンの歓楽街。

イリピン国内の団体
代表は、母子が置き

「父兄」の「お

また、国民の85%がカトリック教徒のフィリピンでは、教義で中絶が禁止されているため出生率が高く、そのこともコピノ増加の一因になつてゐる。

に、韓国政府はコピノの存在から目を背けようとしている。その間にも子供たちは成長する。韓国人の海外渡航が自由化された1989年以降に生まれたコピノの第一世代は、

これまでコピノの存在を黙殺してきた韓国だが、さすがに国内でも問題視する声が広がり始め、韓国テレビ局MBCのニュース番組が昨年10月から「コピノの涙」というシリーズ企画を放送し、大きな

そのひとり。彼女は、別の韓国人男性との間にできたコピノである弟とともに、コピノの支援団体施設に入所し、そこで育った。施設では食事や金銭面、教育のサポートを受けられ、彼女は幸いにも今年

「鮮日報」は、前出・ウォーリー・ストリートジャーナルの記事を紹介しつつ、「韓国は『米国や日本に性的搾取をされた』として長年にわたり非難してきたが、経済的に豊かになるにつれ、フィリピンでは韓国人男性が性的搾取の加害者に変貌しつつある」とのECP

立派に就職した。ドーンさんは、父親について聞かれると冷たく言い放つた。

AT代表のコメントを引用し、この問題を厳しく批判した。今年に入り民間団体や政府傘下機関が支援に動き出したが、それでも韓国政府が直接コビノ支援に乗り出したといふ動きはない。まるで、かつての「ライダイハン」のよう

ことを考えていなかつたのだから、私も彼について特に考えることはありません」

施設では8歳から21歳の同じ境遇のコピノ約15人と一緒に生活していたという。彼女たちの声なき声を、韓国はいつまで無視するつもりか。

韓国男がまたやつている! ベトナム女性を「全裸チエック」で品定め 嫁にした後は殴る、蹴るの暴虐

室谷克実
ジャーナリスト

MUROTANI
Katsumi

韓国の蛮行はベトナム戦争で終わらなかつた。国際結婚仲介業者の斡旋で韓国に嫁いだベトナム人妻を中心的に、夫から虐待を受けた末に殺されたり自殺したりする悲劇が後を絶たない。ジャーナリストの室谷克実氏は「ベトナムは韓国人の欲望のはけ口にされてしまつた」と語る。

*

今年1月、韓国東北部の江原道に嫁いだベトナム人女性Aさん（21）が韓国人の夫に絞殺される事件が起きた（『VIE T J O ベトナムニュース』1月21日）。報道によるところAさんは2012年にベトナムの工場で作業員をしていた韓国人男性と出会い、結婚して韓国に渡った。しかし妊娠・出産後に夫婦や嫁姑間でトラブルが絶えなかつたといふ。同じくソウルに嫁いだ姉

（07年）、「ベトナム人妻の妹（21）に性的暴行を繰り返し逮捕」（08年）、「精神疾患の夫が20歳の妻を刺殺」（10年）、「子供を産んだばかりの妻（23）を刺殺」（11年）など、枚挙に暇がないほどだ。

中でも痛ましいのは、家庭内暴力を苦に7歳と3歳の子供を道連れに飛び降り自殺した遺書には「夫に不倫を疑われ、日常的に暴力を振るわれた。もう生きていけない」と記されていたという。04年、ベトナムで1週間交際しただけで結婚し、韓国に渡ったBさん。2人の子供を出産後は育児をしながら韓国語を学び、定職にも就けた。しかし、育児や仕事で忙しくなり夫の両親の世話を充分にできなくな

る男性8027人中36%の2版などによると、Bさんが残

とも会えないままに殺されたAさん。生後5か月だった長男は夫の家族に引き取られ、1人、無言の帰国となつた。

韓国では近年、ベトナム人妻の自殺や韓国人の夫による殺害事件が毎年のようになつてきている。報じられたケースだけでも、「19歳の妻の肋骨を18か所折る暴行の末に殺害」（07年）、「ベトナム人妻の妹（21）に性的暴行を繰り返し逮捕」（08年）、「精神疾患の夫が20歳の妻を刺殺」（10年）、「子供を産んだばかりの妻（23）を刺殺」（11年）など、枚挙に暇がないほどだ。

韓国では2000年代以降「貧しい国から来た花嫁」が爆発的に増えており、ここ数年は農村部における結婚の4割が国際結婚と言われる。そうした実情は統計にも表われ、05年には「農林漁業に従事す

【PROFILE】1949年東京都生まれ。慶應義塾大学法学部を卒業、時事通信社に入社。政治部記者、ソウル特派員などを歴任。09年に退社し、評論活動に入る。著書『呆韓論』（産経新聞出版刊）がベストセラーとなっている。同社より最新刊が近日発売予定。

韓国では「外国人妻の悲劇」がほぼ毎年発生

2007年7月	19歳のベトナム人妻が韓国人の夫（40代）に肋骨18か所を折られる暴行を受けて死亡
2008年2月	韓国に渡つたばかりのベトナム人妻（21）が飛び降り自殺
5月	40代の韓国人男性が訪ねてきたベトナム人妻の妹（21）を脅迫し性的暴行
2010年3月	春川市で韓国人の夫が保険金目当てにカンボジア人妻を殺害
7月	精神疾患を抱える韓国人の夫が結婚8日目にベトナム人妻（20）を刺殺
9月	韓国人の夫がモンゴル人の妻（25）を殺害
2011年5月	慶尚北道で子供を産んだばかりのベトナム人妻（23）を韓国人の夫（37）が刺殺
2012年3月	江原道で韓国人の夫がベトナム人妻（38）を殺害
11月	韓国人の夫からの暴力を苦にしたベトナム人妻（27）が子供2人と無理心中
2013年11月	金山でベトナム人妻（23）が嫁姑問題に悩んだ末に自宅で首つり自殺
2014年1月	江原道で36歳の韓国人の夫がベトナム人妻（21）の首を絞め殺害

その多くが韓国人の国際結婚仲介業者が主催する「現地見合いツアーア」で結婚した女性たちだ。彼女たちは片言の韓国語もわからないまま韓国人男性と「同伴入国」する。現在、韓国国内には国際結婚仲介業者が500社以上ある。韓国紙『中央日報』によると、ある業者は韓国人男性1人あたり1200万～200万ウォン（約120万～200万円）を集め、現地見

旅行までをパッケージした計5~6日のツアーをベトナムなどで実施している(14年5月15日付)。

「現地見合い」では男性1人に女性が10~50人程度紹介されることが多い。女性が下着姿にさせられるのはまだいい

ほどで、「全裸チェック」まで行なわれことがある。12年には「見合い」の様子を撮影したと思われる動画がネット上にアップされ、波紋を広げた。『ベトナムネット』によると、映像には白いバスタオルを体に巻いただけの若い女性約10人が一列に並び、司会者が1人ずつ名前を読み上げるタオルを外して全裸で歩く姿が映っていたという。韓国人と思われる男性はそれを座って眺め、指を差して女性を品定めしていた。中には未成年が含まれることもある。まさに野蛮な「売買婚セレモニー」が横行しているのだ。

「金を払ったのだから自分的好きにしていい」

そうして嫁いだベトナム人妻を待つのは、韓国社会からの差別、家庭内での暴力だ。

韓国農村経済研究院が全国34の農村部に暮らす国際結婚

した400世帯を面接調査したところ、外国人妻の約2割が「ここ1年で家庭内暴力を経験した」と答えた(『東亜日報』12年4月19日付)。家族から無視され侮辱的な言葉を浴びせられたり、外出を禁じられたりする上に殴るなど脅され、また、実際に殴られた妻が少なくなかつたという。

韓国の女性家族部の調査では、家庭内暴力を受けている外国人妻は7割にも上る。韓国KBSは外国人妻の相談窓口に寄せられた事例として、韓国人男性と結婚し、2度妊娠したが夫に人工中絶を強要されたベトナム人妻や、結婚してから5年間、韓国人夫の暴力を受け続けていたり「韓国人男性との結婚禁止」措置を講じてきた。昨年3月には中央アジア・キルギスの副首相が韓国大使に、キルギス人妻が韓国で「不幸な生活を送り、中には死に至るなどの問題が報告されている」と伝えた上で「議會では韓国人との結婚を禁止する必要があるとの話まで出している」と述べた。これに対

関係者は「外国人女性を妻にしたと考へているのではなく、自分が対価を払つて連れて来たのだから、自分の好きにしたいという間違つた考え方だ。暴力につながつていて」と

ベトナム女性連盟が、50歳以上、または年の差16歳を超える韓国人男性との結婚を禁止する方針を打ち出した。

ベトナムだけではない。同じく仲介業者による「売買婚」の標的であるカンボジアはこれまで数次にわたり「韓国人男性との結婚禁止」措置を講じてきた。昨

年5月には中央アジア・キルギスの副首相が韓国大使に、キルギス人妻が韓国で「不幸な生活を送り、中には死に至るなどの問題が報告されている」と伝えた上で「議會では韓国人との結婚を禁止する必要があるとの話まで出している」と述べた。これに対



韓国に嫁ぐベトナム女性は貧しい農村地帯の出身が多い(写真と本文は関係ありません)。

5月21日。

説明する。

相次ぐ事件を受けベトナムなど各國は対策に乗り出した。

10年には半官半民の「ベトナム女性連盟」と韓国政府の間で、韓国人男性の経済力や

家族構成、健康状態などの基本情報を国際結婚仲介業者に通知させる制度を作ることが合意された。しかし、書類を捏ねるなど虚偽が横行したため実効性は皆無。12年には

大使の言葉に表われた「問題軽視」の不誠実さこそ悲劇韓国政府は国際結婚に伴う移民ビザを申請する外国人には韓国語の習得を、韓国人配偶者には年収1480万ウォン(約148万円)以上を条件として課した。しかし、そうした規制強化は「農村部の男性の結婚相手を選ぶ範囲を狭くし、結婚費用をかさませるだけ」(国際結婚仲介業者)と冷めた声も聞かれる。実際、業者による「売買婚」はベトナムに始まり、次から次へと貧しい国々を物色し、市場を開拓してきた。

ベトナム戦争当時、韓国の軍属として滞在したことのある建設業の男性はかつて筆者にこう語つたことがある。「ベトナムはカネと女が自由になる夢の国だった。あの頃が人生で一番よかった」韓国人の欲望に魅入られたベトナムの悲劇はまだまだ終わらそうにない。

話題の韓国人ブロガーが告発

大統領

**朴槿恵は日本に謝罪を求める前に
まず自国の恥すべき戦争犯罪を直視せよ**

史実に向き合い正論を吐け
「卖国奴」と罵られる。そ

1972～93年の軍事政権時代は、韓国でベトナム戦争を語ると「あれは戦争だったば」「売国奴」と罵られる。そんな韓国社会の異常性を訴え、史実に向き合い正論を吐けば、「売国奴」と罵られる。そ

日々、ブログで情報発信しているのが韓国人ブロガーのシンシアリー氏だ。日本語で綴られる彼のブログは1日10万ビューを超えて、今年5月発行の『韓国人による恥韓論』(扶桑社刊)は1か月余りで15万部を突破した。新世代言論人（やられないために、敵を殺しただけだ）という決まり文句が返ってきた。「韓国軍はベトコンをいっぱい殺した」という手柄話の類は聞かされても「民間人虐殺」について語られることはほとんどなかつたのだ。ベトナム戦争に触

が、未だ韓国でタブーとされる「韓国軍の戦争犯罪」に切り込む。

AP/AEI C

本稿の執筆に当たり、韓国人である私が如何にこの問題に無知であつたかを思い知ることになった。子供の頃から「韓国軍がベトナム戦争で民間人を虐殺した」という話は聞いていたし、ブログにも書いたことがある。しかし、それはネットでも普通に拾える情報ばかりで、当事國の人間としてベトナム戦争を振り返る機会は少なかつた。



く、反共政権（ベトナム派兵）を行なつた朴正熙政権以降の与党（）がいかに酷いことをしてきただかというアピールに過ぎなかつた。

それから再び政権が変わつたが、ベトナム戦争に対する国としての態度に変化はない。09年、李明博・前大統領はベトナム参戦者の処遇を拡充させる「国家有功者優遇法」の改正案に「世界平和の維持

記念する大々的な式典を準備していたことが発覚。ベトナム政府の抗議を受け式典の開催は保留になった。これに対しベトナム参戦軍人会は、「式典開催を」保留したのは戦争で負けたという敗北意識のせいだ」と政府に猛抗議したが、ベトナム派兵50周年という節目の年に、言うべきことはそれだけなのだろうか。どちらからも「謝罪」や「反省」の言葉は聞こえてこない韓国で暮らす私は、これまで

指著^{韓国人による取材記}にも記したが、韓国では反日でないものは国賊扱いされ、見つかれば社会的に抹殺される。韓国軍によるベトナムでの恥すべき戦争犯罪を詳らかにすることも同様だ。過去に向き合うことなく、都合の悪い史実を封印するような国が国際社会の一員になれるはずがない。

遅まきながら、ブログで思ひのままを書き連ねる私自身も、韓国人としてこの問題と真摯に向き合っていきたいと考えている。

れること自体がタブーだったから、「決まった形での見解しか認めない」雰囲気があった。韓国でベトナム戦争における「民間人虐殺」を語れるようになつたのは親北性向の左派政権（98～2008年の金大中・盧武鉉政権）になつてからだ。もちろん、言い出せるようになつた「だけ」で、国として何かの行動があつたわけではない。

に貢献したベトナム戦争の有功者」との文言を盛り込み、一時ベトナム政府から国賓訪問を拒否された。

ベトナム派兵を「あれは戦争だった」と言うのなら、日本の戦いも大義に基づく「戦争」だ。朴槿恵大統領は日本に対し「歴史を忘れた民族に未来は無い」と傲岸不遜に言うが、歴史を忘れたのはどちらなのか。

シンシアリー

Sincere
LFE

で幾度も「日本の謝罪は心がこもっていないから謝罪とは言えない。日本の謝罪に意味はない」と聞かされてきた。

*韓国では一般的に職業軍人出身の朴正熙、全斗煥、盧泰愚政権を軍事政権と呼ぶ。

*韓国では一般的に職業軍人出身の朴正熙、全斗煥、盧泰愚政権を軍事政権と呼ぶ。

【PROFILE】1970年代、韓国生まれ。本業は歯科医。日韓併合時代に生まれた母から日本語を教わり、雑誌やアニメを通じて本当の日本の姿を知る。同時に韓国の行き過ぎた反日に違和感を覚えるようになり、歪んだ韓国の反日思想を皮肉る「シンシアリーのブログ」を開設。1日10万ビューを超える人気ブロガーとなった。